



みなみの風

坂下南小学校
学校だより
NO. 117
R7. 4. 16
(文責:校長 菅家 篤)

ドリーム & チャレンジ! ~あいさつ・はっぴょう・なかまとじぶん~

心のコップを上向きに

入学式の校長式辞で、次の話をしました。

【実際に、透明のコップに水を注いで見せながら】

1年生の皆さんに頑張ってほしいことを一つだけお話します。それは、「お話をよく聞きましょう」ということです。みんなの体の中には、「心のコップ」があります。コップが上を向いていたらたくさん水が入ってきます。でも、コップが下を向いていたら水は少しも入りません。先生のお話をよく聞くことができる人は、心のコップが上を向いている人です。先生の目を見て、お話をよく聞くことができる人は、このお水のように勉強したことがたっぷり体の中に入ってきて賢くなりますよ。

上級生の皆さんにお話しします。上向きのコップのように素直な心で、先生や監督などいろいろな人の話を受け止めましょう。言われたことを考えて、そのとおりだと思えばしっかり受け入れ、違うと思ったら受け流してもいいのです。心のコップに残ったことが自分のためになる学びになります。人に何か言われたら「ありがたい」と思って受け止めることが大切です。素直な人は必ず伸びていきます。



お子さんの心のコップは上を向いていますか？

素直な子は、なぜ伸びるのか

なぜ素直な子が伸びるのでしょうか。素直な人は、人からのアドバイスを正面から受け止めます。そのため、周りの人は気付いたときにアドバイスしてあげようという気持ちになります。つまり、学ぶチャンスが増えるのです。また、素直な人は、それだけで人に好かれます。好かれるということは、大事にされるということです。大事にされる感覚は、その人の安定感につながります。

毎日の見守り、ありがとうございます ~地区児童会~



地区児童会(14日)に、見守り隊(民生児童委員)の方々にご参加いただき、地区ごとに、子どもたちとの顔合わせを行いました。子どもたちの安全・安心を確保するためには、教職員だけでは限界があり、見守り隊の皆様によるご活動は本当に有り難く思っております。

春夏秋冬、暑い日も寒い日も、大雪の日も本当に大変ですが、見守り隊の皆様におかれましては、くれぐれもご自愛くださり、子どもたちの見守りを引き続きよろしくお願いいたします。

◆シリーズ④◆ 枠組みやルールを機能させる親の努力(食事時)

《呼んでも何かに夢中で食事に来ない》

一度声をかけたら、うるさく何度も呼ばないようにします。食事の途中でやってきても温め直すことはしません。たとえ食事中に来なくても、食事が終わったら片付けることです。「欲しかったら自分で温めて食べてね。お母さん、用があるから後片付けも自分でお願いね」とやさしく伝えましょう。独りで冷たい食事をするので、子どもは何かを考えます。

